

埼労連第29回

サマーセミナー

今回のサマーセミナーは、労働組合の求められる政治闘争と選挙闘争の重要性と10月に予定されている「消費税10%」の反対世論と運動の確信を高め、どのように幅広い運動を作ることができるかを学びます。

職場では、政治について議論・談義ができない状況が作り上げられようとしています。

いま、憲法を含め政治情勢の学習を含め、そのうえで労働組合の政治・選挙に対する立ち位置・あり方、政治政策の明確な見極めが求められています。

また、「消費税10%ストップネットワークの運動」の取り組みと「消費税10%」の反対世論と運動の確信を高めるための情勢学習。また、埼玉県医師不足（医療過疎）などの問題を可視化していきます。

サマーセミナーを通し、労働組合の求められる政治闘争と選挙闘争、そして「市民と野党の共闘」の新しい時代について、組合員が自主的・自覚的に運動に参加するには、どんな組合活動が求められるのかを学びます

日時：2019年6月22日(土) 午前10時～午後4時30分(予定)

会場：さいたま共済会館 601/602

参加費：1500円（資料代・昼食として）（昼食なしは500円）

講演① 本田宏氏(NPO 法人医療制度研究所副理事、医師)
「埼玉県の医療過疎の問題と消費税10%ストップネットワークの運動」
(仮称)

講演② 石川康宏氏(神戸女学院大学教授)【経済学】
「労働者・市民要求実現に向けた労働組合運動と政治闘争のあり方」
(仮称)

報告 各組織の取り組みと教訓

埼玉県労働組合連合会／埼労連教育推進委員会

さいたま市浦和区高砂3-10-11 第一木村ビル2F
TEL 048-838-0771／ FAX 048-838-0775